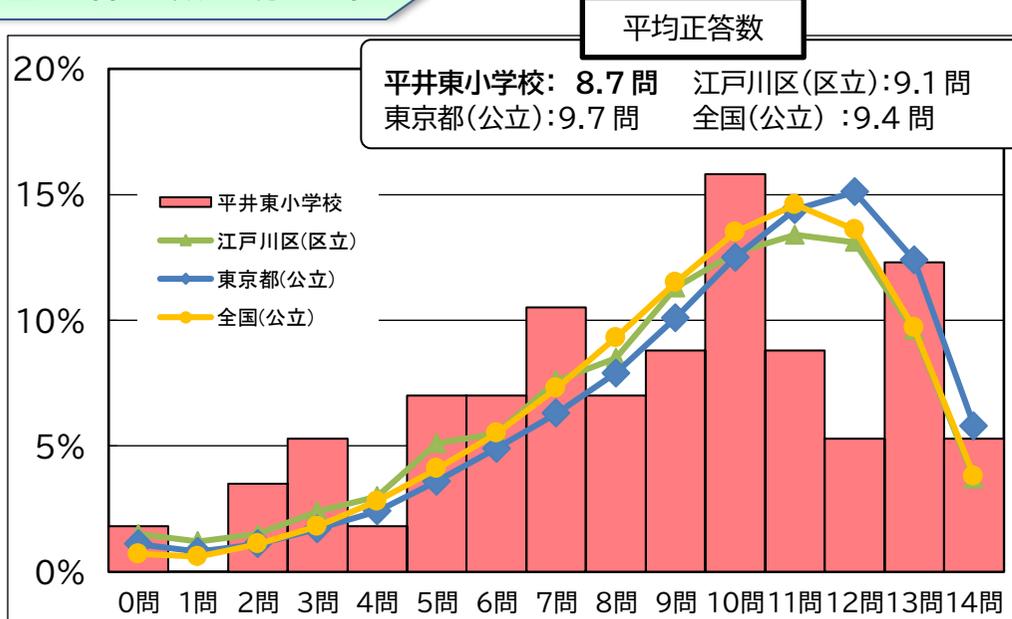


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 平井東小学校

正答数分布



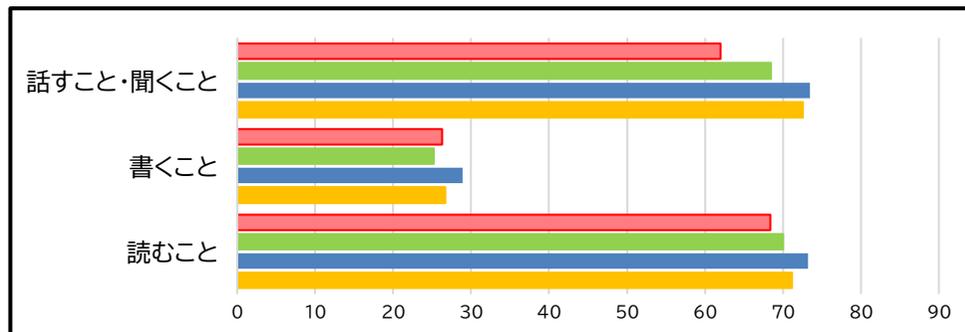
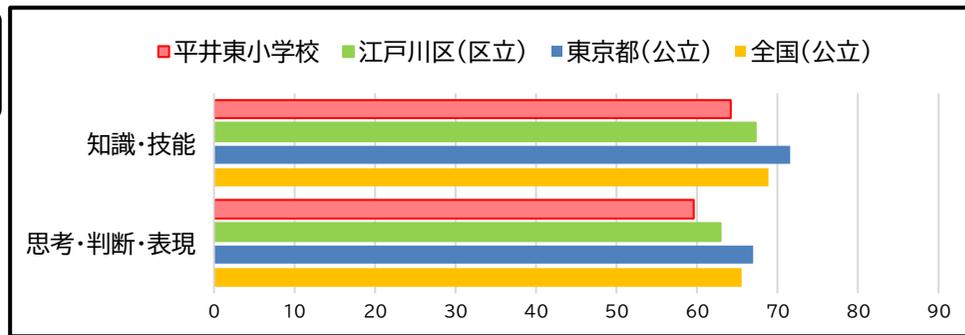
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
平井東小学校	22.9	24.6	15.8	36.9
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

平井東小学校	62%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	7ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答数は、8.7問であり、東京都の平均と比較すると1ポイント低い。四分位における割合も、A・B・C層はいずれも低く、D層が多くなっている。

授業改善に向けて、知識・技能面では、漢字の学習の繰り返しおよび朝読書や読書科の時間を活用して読書を行い、読解力の向上を目指す。思考・判断・表現の面では、国語の授業において、物語の心情理解や説明文の構成の適切な把握などを重点に置いた指導を低学年から行う。